社会医療法人同愛会博愛病院　糖尿病専門外来広報誌

かえで通信

社会医療法人同愛会
博愛病院
Hakuai Hospital

Vol.98
2024.9月

SGLT2阻害薬服用時は、脱水症状に注意が必要です

文責：薬剤部　大谷

近年は特に異常気象と言えるような猛暑が続きます。厳しい残暑は長引く見通しの様です。この様な時期は熱中症や脱水症状が起こりやすくなってきます。糖尿病の方は特に熱中症や脱水症状に注意が必要なことをご存知でしょうか？今回は、糖尿病の方に起こる脱水の症状やそのメカニズムについて説明します。

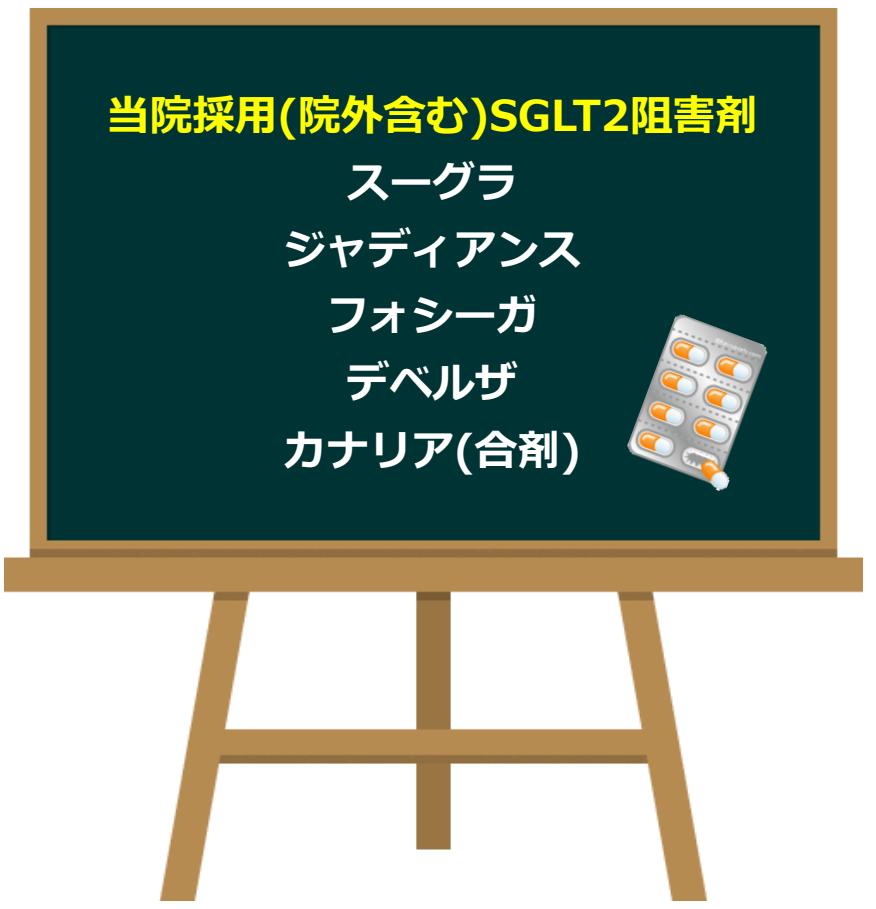
高血糖の状態が続くと、尿の量や回数が増えたり、のどが渇いたりすることがあります。インスリンが体内で十分に分泌されていなかったり、働かないと、血液中のブドウ糖の濃度がとても高くなり高血糖状態になります。ブドウ糖は体に必要な栄養分であるため、通常は尿と一緒に排出されず、血液中に戻されます。ところが、糖尿病の方は血液中のブドウ糖が多くなり過ぎると、腎臓でブドウ糖を血液に戻しきれなくなり、尿に排出してしまいます。ブドウ糖は水分を引っ張る性質があり、多量の水分も一緒に尿として排出してしまい、尿の量や回数が増えます。これが多尿になります。体の中の水分が多量に使われてしまうと、脱水状態になります。脱水になると、のどの渇き（口渇）を感じ、それを改善するために多量の水分を摂ります。これが多飲です。糖尿病に特徴的な、多尿、口渇、多飲の症状は、高血糖による脱水症状になります。

口渇、多飲

多尿

SGLT2阻害薬は、腎臓に作用して余分な糖と尿を一緒に排出して血糖値を低下させます。心不全の方では、体の過剰な水分を調整し、心不全を改善しますし、腎臓病の方では、腎臓にかかる負担を小さくして、腎臓を保護します。その作用機序から、上記の高血糖症状に類似した軽い脱水状態をもたらすことが考えられます。

このため特にSGLT2阻害薬を服用している患者さんは、普段からこまめに水分摂取をして頂く必要があります。特に高齢になるにつれて脱水症状の発現率は高くなります。また同じSGLT2阻害薬を服用していても心不全や腎臓病によって内服している方は、水分補給のポイントは異なってきます。医師の指示に従うようにして下さい。



社会医療法人同愛会 博愛病院
〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880 Tel 0859(29)1100
糖尿病専門外来広報誌　かえで通信Vol.98　2024年10月23日発行　発行責任者　糖尿病療養指導委員会

博愛病院
掲示日　：2024.10.23
掲示期限：2024.11.17
認可No　：A24074